平成25年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年6月13日

上場会社名　ウインテスト株式会社　　上場取引所　東
コード番号　6721　URL　http://www.wintest.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 奈良　彰治
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役　(氏名) 岡本　隆　TEL 045-317-7888

四半期報告書提出予定日　平成25年6月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年7月期第3四半期の業績(平成24年8月1日～平成25年4月30日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年7月期第3四半期	69	△77.9	△271	―	△267	―	△268	―
24年7月期第3四半期	315	△37.8	△169	―	△171	―	△168	―

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年7月期第3四半期	△5,458.12	―
24年7月期第3四半期	△3,422.04	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年7月期第3四半期	917	770	83.6	15,561.09
24年7月期	1,230	1,035	83.9	20,939.21

(参考) 自己資本　25年7月期第3四半期　766百万円　24年7月期　1,031百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年7月期	―	0.00	―	0.00	0.00
25年7月期	―	0.00	―		
25年7月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 7月期の業績予想(平成24年 8月 1日～平成25年 7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	―	―	―	―	―	―	―	―	―

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

業績の見通しにつきましては、当第3四半期決算短信提出日において適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、業績予想の開示を控えさせていただきました。なお、今後業績予想が可能になりました段階で改めて公表いたします。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 有
④ 修正再表示 ： 無

＊詳細は、添付資料3ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年7月期3Q	49,274 株	24年7月期	49,274 株
② 期末自己株式数	25年7月期3Q	― 株	24年7月期	― 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年7月期3Q	49,274 株	24年7月期3Q	49,274 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、経済環境の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。
業績予想の前提となる条件等については、【添付資料】2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
４．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
第３四半期累計期間 …… 6
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（４）セグメント情報等 …… 7
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 7
（６）重要な後発事象 …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第３四半期累計期間における世界の経済情勢は、欧州の景気低迷の長期化や、それに伴う新興国の景気減速により厳しい状況が継続したものの、北米で個人消費や設備投資が拡大するなど、一部に穏やかな回復傾向が見られました。

わが国の経済は、世界の経済情勢を背景として不透明な状況で推移しておりましたが、昨年末の政権交代を契機とした政策への期待感から市場が円安・株高基調に転じ、個人消費に持ち直しが見られるなど改善の兆しが見え始めました。

当社が属する半導体並びにフラットパネルディスプレイ業界におきましては、スマートフォンやタブレット端末関連デバイスの需要は堅調に推移いたしましたが、その他の市場は引き続き低迷し、国内メーカーでは事業の見直しや再編に伴う設備投資の見送りや凍結が継続されるなど、極めて厳しい事業環境が継続しました。

このような経営環境のなか、当社は顧客のニーズに対応した装置と機能拡張オプションの開発、改善に努め、製品ラインアップを拡充するとともに、営業担当とエンジニアが一体化した営業推進体制により、国内外での売上拡大と、新規顧客の開拓に向けた積極的な営業活動を展開し、これらは海外企業からの受注獲得につながってきております。

加えて、部品調達の効率化と調達先の選別、及び開発工程の見直しによる原価低減に加え、希望退職者の募集を含む、過去最低レベルの経費水準を目指した固定費削減を継続実施し、営業損益の改善に努めております。

その結果、当第３四半期累計期間の売上高は69,889千円（前年同期比77.9%減少）、営業損失271,259千円（前年同期は営業損失169,711千円）、経常損失267,944千円（前年同期は経常損失171,965千円）、四半期純損失268,943千円（前年同期は四半期純損失168,617千円）を計上することになりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第３四半期累計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べ311,459千円減少し、829,064千円（前事業年度末比27.3%減）となりました。この主な要因は、現金及び預金が87,515千円増加したことと、受取手形及び売掛金が420,312千円減少したことによるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べ1,410千円減少し、88,320千円（前事業年度末比1.6%減）となりました。この主な要因は、長期前払費用が25,466千円、「工具、器具及び備品」が7,116千円それぞれ減少したことと、保険積立金が28,851千円増加したことによるものです。

（負債）

流動負債は、前事業年度末に比べ33,916千円減少し、49,098千円（前事業年度末比40.9%減）となりました。この主な要因は、前受金が13,943千円減少したことと、未払消費税が13,573千円減少したことによるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べ13,951千円減少し、98,281千円（前事業年度末比12.4%減）となりました。この主な要因は、長期借入金が13,851千円減少したことによるものです。

（純資産）

純資産は、前事業年度末に比べ265,001千円減少し、770,005千円（前事業年度末比25.6%減）となりました。この主な要因は、利益剰余金が268,943千円減少したことによるものです。

（３）業績予想に関する定性的情報

当第３四半期決算短信提出日における、半導体並びにフラットパネルディスプレイ業界を取り巻く事業環境は、スマートフォンやタブレット端末関連デバイス以外の分野においては極めて厳しく、また、国内主要メーカーが事業年度末を迎えたことも相まって、業界全体における設備投資計画は不確定な要素を多分に含んでおります。

このような経営環境において、当社は平成25年３月21日に公表の「「半導体検査装置」 受注のお知らせ」でお知らせの通り一定規模の受注を獲得いたしましたが、当該案件を主とする受注案件の売上計上規模と、時期については不確定な要素を含んでいることから、通期の業績の見通しについては適正かつ合理的な数値の算出が困難であると判断し、業績予想の開示を控えさせていただきます。

なお、今後業績予想が可能になりました段階で改めて公表いたします。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期会計期間より、平成24年８月１日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

当第３四半期累計期間におきましては、営業キャッシュ・フローは、税引前四半期純損失が267,944千円計上されたものの、売上債権が420,312千円減少したこと等から、110,360千円のプラスとなりました。しかしながら、昨年末からの円安の進展により国内景気の回復期待は高まりつつあるものの、日中関係の悪化および主に中国経済の減速の影響を受け、当社の属する半導体業界においては依然として厳しい状況が続き、顧客の設備投資が引き続き抑制されたこと等により、売上高は69,889千円と低調で、営業損失271,259千円を計上することになりました。当該状況により、当社には継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社はこうした状況を解消するため、以下の取組みを継続して実施しております。

顧客ニーズに対応した新検査装置や機能拡張オプションの開発、改善により、差別化した製品ラインアップを提供し、国内外で売上拡大及び新規顧客の開拓に向けた積極的な営業展開を推進しており、特に海外企業からの受注獲得につながってきております。併せて部品調達先及び開発工程の見直しによる原価低減と希望退職をはじめとする固定費削減策を実施し、営業損益の改善に努めております。また、営業担当とエンジニアが一体化した営業推進体制は顧客の支持を得ており、さらに顧客満足度の向上に資する製品開発に注力し、厳しい経済環境下でありますが今後も顧客の取引シェアアップ及び海外を含めた新規顧客の獲得に取り組んでまいります。

その他、財務面におきましても必要十分な現金預金を有していることに鑑み、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

４．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年７月31日）	当第３四半期会計期間 （平成25年４月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	432,413	519,929
受取手形及び売掛金	436,118	15,805
商品及び製品	26,023	29,341
仕掛品	227,732	235,540
原材料及び貯蔵品	2,163	1,474
その他	16,072	26,973
流動資産合計	1,140,524	829,064
固定資産		
有形固定資産		
建物	11,231	11,231
減価償却累計額	△3,629	△4,581
建物（純額）	7,601	6,649
車両運搬具	12,835	12,835
減価償却累計額	△12,282	△12,378
車両運搬具（純額）	552	456
工具、器具及び備品	157,522	158,371
減価償却累計額	△138,755	△146,721
工具、器具及び備品（純額）	18,766	11,649
有形固定資産合計	26,921	18,756
無形固定資産		
電話加入権	358	358
ソフトウエア	780	209
無形固定資産合計	1,139	567
投資その他の資産		
投資有価証券	17,519	21,460
敷金	14,135	14,135
長期前払費用	30,016	4,549
保険積立金	－	28,851
投資その他の資産合計	61,670	68,997
固定資産合計	89,730	88,320
資産合計	1,230,255	917,385

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年７月31日)	当第３四半期会計期間 (平成25年４月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,014	2,331
1年内返済予定の長期借入金	18,468	18,468
未払法人税等	3,513	2,789
賞与引当金	2,138	7,270
製品保証引当金	7,748	452
その他	48,132	17,787
流動負債合計	83,014	49,098
固定負債		
長期借入金	105,479	91,628
資産除去債務	5,508	5,569
その他	1,245	1,084
固定負債合計	112,233	98,281
負債合計	195,248	147,380
純資産の部		
株主資本		
資本金	997,101	997,101
資本剰余金	1,104,350	1,104,350
利益剰余金	△1,062,158	△1,331,102
株主資本合計	1,039,292	770,349
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△7,534	△3,592
評価・換算差額等合計	△7,534	△3,592
新株予約権	3,247	3,247
純資産合計	1,035,006	770,005
負債純資産合計	1,230,255	917,385

（２）四半期損益計算書
（第３四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間 （自　平成23年８月１日 至　平成24年４月30日）	当第３四半期累計期間 （自　平成24年８月１日 至　平成25年４月30日）
売上高	315,926	69,889
売上原価	164,938	51,355
売上総利益	150,987	18,534
販売費及び一般管理費	320,699	289,794
営業損失（△）	△169,711	△271,259
営業外収益		
受取利息	149	105
為替差益	－	4,971
保険解約返戻金	－	285
還付加算金	247	－
その他	101	1
営業外収益合計	498	5,364
営業外費用		
支払利息	1,762	1,546
為替差損	417	－
支払手数料	549	481
その他	22	21
営業外費用合計	2,751	2,048
経常損失（△）	△171,965	△267,944
特別利益		
固定資産売却益	3,096	－
投資有価証券売却益	635	－
特別利益合計	3,732	－
税引前四半期純損失（△）	△168,233	△267,944
法人税、住民税及び事業税	729	1,161
法人税等調整額	△344	△161
法人税等合計	384	999
四半期純損失（△）	△168,617	△268,943

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

当社は、半導体検査装置の貸与、設計、販売並びに技術サポートを事業内容とする単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（６）重要な後発事象

該当事項はありません。